

高頻度で引用された 1919 年から 2010 年までに発行された学術論文（母数 24,155 篇）

被引用回数	著者	論文タイトル	雑誌名	出版年	巻	頁
174	山本真理子・松井豊・山成由紀子	認知された自己の諸側面の構造	教育育心理学研究	1982	30	64-68
92	梅本堯夫・森川彌寿雄・伊吹昌夫	清音 2 字音節の無連想価及び有意味度	心理学研究	1955	26	148-155
73	菅原健介	自意識尺度 (self-consciousness scale) 日本語版作成の試み	心理学研究	1984	55	184-188
68	清水秀美・今栄国晴	STATE-TRAIT ANXIETY INVENTORY の日本語版 (大学生用) の作成	教育育心理学研究	1981	29	348-353
59	岡安孝弘・嶋田洋徳・丹羽洋子・森俊夫・矢富直美	中学生の学校ストレスの評価とストレス反応との関係	心理学研究	1992	63	310-318
58	岡安孝弘・嶋田洋徳・坂野雄二	中学生におけるソーシャル・サポートの学校ストレス軽減効果	教育育心理学研究	1993	41	302-312
52	落合良行・佐藤有耕	青年期における友達とのつきあい方の発達的变化	教育育心理学研究	1996	44	55-65
52	寺崎正治・岸本陽一・古賀愛人	多面的感情状態尺度の作成	心理学研究	1992	62	350-356
51	森悦朗・三谷洋子・山鳥重	神経疾患患者における日本語版 Mini-Mental State テストの有用性	神経心理学	1985	1	82-90
47	青木孝悦	性格表現用語の心理—辞典的研究	心理学研究	1971	42	1-13
46	柏木恵子・若松素子	「親となる」ことによる人格発達—生涯発達の視点から親を研究する試み	発達心理学研究	1994	5	72-83
46	坂野雄二・東條光彦	一般性セルフ・エフィカシー尺度作成の試み	行動療法研究	1986	12	73-82
45	和田さゆり	性格特性用語を用いた Big Five 尺度の作成	心理学研究	1996	67	61-67
44	工藤力・西川正之	孤独感に関する研究 (I)	実験社会心理学研究	1983	22	99-108
39	伊藤裕子	性役割の評価に関する研究	教育心理学研究	1978	26	1-11
38	鎌原雅彦・樋口一辰・清水直治	Locus of Control 尺度の作成と信頼性、妥当性の検討	教育心理学研究	1982	30	302-307

データベース PsychoFindJ を用いて、2010 年までに学会誌 35 誌に引用された論文のべ 19,632 論文から算出。10 回以上引用された論文数は 420 篇